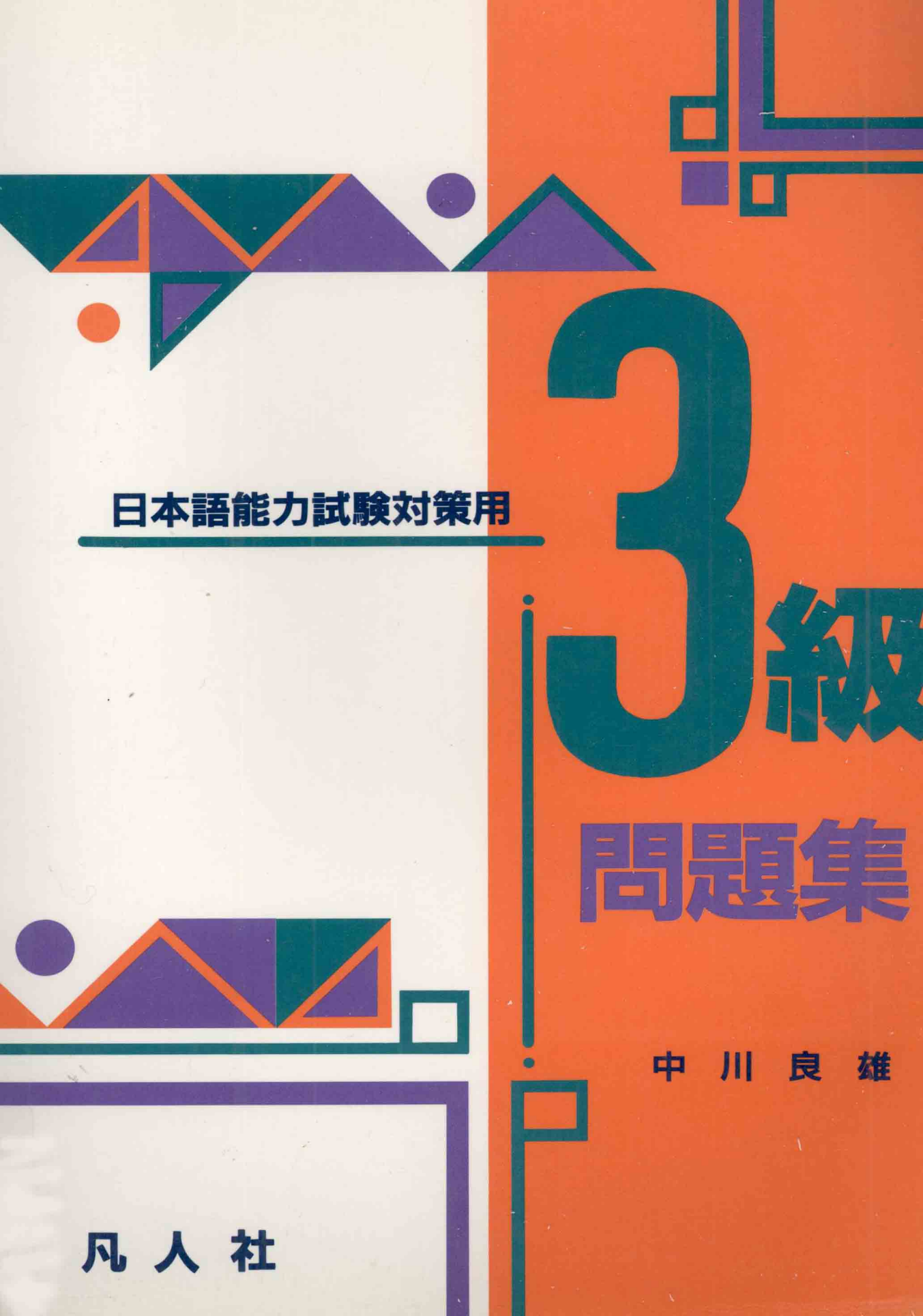




日本語能力試験対策用

3級 問題集

中 川 良 雄

凡 人 社

著者紹介

中川 良雄 (なかがわ よしお)

1955年滋賀県草津市生まれ

1983年関西学院大学大学院文学研究科

博士課程後期課程単位取得満期退学

現在京都外国語大学留学生別科助教授

日本語能力試験対策用 **3 級問題集**

1990年9月25日 初版第1刷発行

著 者 中川 良雄

発 行 株式会社 凡 人 社

〒102 東京都千代田区麴町6-2

麴町ニュー弥彦ビル2F

電話 03-472-2240

©1990 NAKAGAWA Yoshio

Printed in Japan

ISBN4-89358-095-7 C3081

はじめに

近年世界各国における日本語学習者人口の増加にともない、日本を訪れる留学生数も年々増加の一途をたどっている。また日本政府は、西暦2000年における「留学生10万人受け入れ政策」を発表し、日本語学校の整備・充実、教員養成等、積極的に動きだしてきた。日本への留学を希望する日本語学習者は、目下うなぎのぼりに急上昇中であり、その数は今後ますます増加するものと思われる。

本書は、日本国内外で日本語を学ぶ学習者のために編纂されたものである。

毎年12月初旬に、国内では財団法人日本国際教育協会、国外では国際交流基金の主催による「日本語能力試験」が日本国内外で実施されているが、本書は、これから同試験に臨もうとする学習者に利用してもらいたい。また受験予定がなくても、既習事項の確認用および実力養成用として、さらに日本への留学準備用の問題集として、教室内外での幅広い利用をお勧めする。

同試験は、1～4級から成るが、本書もそれぞれの級に対応しうる構成をとる。本冊は、日本語能力試験3級レベルの学習者を対象としているが、別に4級レベルの学習者用のものも用意してあるので、併せて利用してほしい。そして上にも述べたように、同試験受験者のみならず、幅広い層の利用者を目当てにしているので、各自の日本語能力の一応の目安として本書を役立ててほしい。

本書が、世界の日本語学習者の一助になれば幸いである。

本書の出版にあたり、凡人社社長の田中久光氏、同編集部の大橋牧子氏、米木久恵氏および同大阪店の渋谷晴正氏には一方ならぬお世話になった。紙面を借りてお礼申しあげたい。

1990年 9 月

中川 良雄

本書の使い方

—教授者のみなさんへ—

本冊は、「日本語能力試験」3級レベル用の問題集である。何をもって3級用と決めつけるかには、さまざまな認定基準があろうかと思うが、次ページに掲げる「日本語能力試験認定基準」を一応の目安とした。と言っても、ここからここまでが3級用と、レベル基準を設けるのは実際上不可能であるし、場合によって(殊に「文字」の設問において)は、使用頻度の高いものは、設問の重複する場合もあるし、3級レベルにしてはやや難しく思われる問題もある。これは使用頻度の高い形式は、何度も繰り返し学習することによって自然と身につけてもらう効果をねらったためと、本書が必ずしも実力確認用の問題集ではないためである。本書は、「日本語能力試験」受験者のみならず、すべての日本語学習者に、日本語運用能力を向上させるための問題集として利用してもらいたいのである。

「文字」に関する設問以外は、すべて選択形式とした。これは、実際の「日本語能力試験」が選択形式であることと、本書の利用者が退屈することなく、学習が進められるよう意図したためである。また漢字系学習者の場合、ただ漢字の並んでいるのを見れば、詳しい日本語文法を解せずとも、ある程度の意味内容が理解できるようであるが、正しい文法を理解し、正確な発音を身につけてもらうため、あえて「ひらがな」表記を多くした。実際の試験でも、3級程度では漢字の使用は大幅に制限されていることは言うまでもない。

本書は、第1回～第10回から成る。各回ごとに、「文字」「語彙」「文法」「読解」の各設問を用意した。巻末には得点表を掲げたので、学習者には毎回得点を記入させ、各人の弱点を見つけて補強していったほしい。

試験の構成及び認定基準

級	構 成			認 定 基 準
	類 別	時 間	配 点	
1	文字・語彙	45分	100点	高度の文法・漢字（2,000字程度）・語彙（10,000語程度）を習得し、社会生活をする上で必要であるとともに、大学における学習・研究の基礎としても役立つような、総合的な日本語能力。 (日本語を900時間程度学習したレベル)
	聴 解	45分	100点	
	読解・文法	90分	200点	
	計	180分	400点	
2	文字・語彙	35分	100点	やや高度の文法・漢字（1,000字程度）・語彙（6,000語程度）を習得し、一般的なことがらについて、会話ができ、読み書きできる能力。 (日本語を600時間程度学習し、中級日本語コースを修了したレベル)
	聴 解	35分	100点	
	読解・文法	70分	200点	
	計	140分	400点	
3	文字・語彙	35分	100点	基本的な文法・漢字（300字程度）・語彙（1,500語程度）を習得し、日常生活に役立つ会話ができ、簡単な文章が読み書きできる能力。 (日本語を300時間程度学習し、初級日本語コースを修了したレベル)
	聴 解	35分	100点	
	読解・文法	70分	200点	
	計	140分	400点	
4	文字・語彙	25分	100点	初歩的な文法・漢字（100字程度）・語彙（800語程度）を習得し、簡単な会話ができ、平易な文、又は短い文章が読み書きできる能力。 (日本語を150時間程度学習し、初級日本語コース前半を修了したレベル)
	聴 解	25分	100点	
	読解・文法	50分	200点	
	計	100分	400点	

第一回

【文 字】

問題 1 次の文の ____ のことばを漢字（と ひらがな）で書きなさい。

(2 × 25 = 50)

- (1) この ちほう¹は なつ²は とても あつ³い。
- (2) わたしは まい⁴にち しち⁵じに おき⁶ます。
- (3) こんや⁷の つき⁸は とても きれいだ。
- (4) 山本さんは こうじょう⁹で はたら¹⁰いています。
- (5) はる¹¹に なんと いろいろな はな¹²が さきます。
- (6) 山口さんは ゆうめ¹³いな かしゅ¹⁴です。
- (7) だいがく¹⁵の まえ¹⁶に あたらしい¹⁷ みせ¹⁸が できた。
- (8) あそこで おちや¹⁹でも いかがですか。
- (9) あき²⁰に なんと 木の は²¹が あか²²くなります。
- (10) あね²³は おんがく²⁴を ききながら べんきょう²⁵しています。

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21	22	23	24	25

問題Ⅱ 次の文の____の漢字（とかな）はどう読みますか。ひらがなで書きなさい。

(2×25=50)

- (1) 天気¹のいい日²には駅³まで自転車⁴で行きます。
- (2) 西⁴の山⁵に太陽⁶がしずんだ。
- (3) この池⁶にはどんな魚⁷がいますか。
- (4) 今日は頭⁸がいたくて、仕事⁹を休¹⁰んだ。
- (5) 友だちが国¹¹へ帰¹²るので空港¹³まで送¹⁴りに行った。
- (6) ここに住¹⁵所¹⁶と電話¹⁷番¹⁸号¹⁹があります。
- (7) わたしの会社¹⁷までは、バス¹⁸が速¹⁹くて便利²⁰です。
- (8) 遠²⁰くで鳥²¹が鳴²²いている。
- (9) あの明²³るい星²⁴は何²⁵だろう。
- (10) 今日はこれで終²⁵わり²⁶だ。

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21	22	23	24	25

【語彙】

問題Ⅰ 次の文の（ ）の中に何を入れますか。それぞれのA～Dの中から、いちばんいいものを一つえらびなさい。(5×10=50)

(1) 62円の（ ）をかって、ここにはってください。

A てがみ B きって C おかね D きっぷ

(2) となりのへやから、へんな（ ）がします。

A きもち B かんじ C おと D もの

(3) 今日はさむいので、（ ）をきています。

A セーター B スカート C ズボン D ソックス

(4) めがねを（ ）まま、おふろに入りました。

A した B かぶった C つけた D かけた

(5) つめたいかぜが（ ）、とてもさむい。

A ふいて B ふって C ついて D おりて

(6) あきになると、ひるの時間がだんだん（ ）なります。

A はやく B みじかく C ながく D さむく

(7) このきかいは、とても（ ）です。

A げんき B しんせつ C ふくぎつ D しぜん

(8) 田中さんは（ ）お金もちだとおもう。

A きっと B あまり C およそ D よく

(9) あさから何も食べていないので、おなかが（ ）です。

A べかべか B ペケペケ C ベクベク D ペコペコ

(10) 日本は（ ）とゆしゅつのどちらが多いですか。

A ゆだん B ゆにゅう C ゆそう D ゆけつ

問題II 次の意味のせつめいを読んで、そのせつめいにいちばん近いものを、A～Dの中から一つえらびなさい。(5 × 5 = 25)

(1) 家やへやなどをきれいにすること。

A しゅうり B そうじ C せんたく D すいじ

(2) しごとで、しばらく出かけること。

A りょこう B ほうこく C きゅうか D しゅっちょう

(3) 体がほそくなって、かるくなる。

A ふける B ふとる C へる D やせる

(4) 人がたくさんいること。

A おおぜい B おとな C じんこう D にんずう

(5) しゃかいで新しくおきたことや、めずらしいこと。

A トラブル B デモ C ニュース D レポート

問題III []の中のことばの意味として、いちばんいいものを、A～Dの中から一つずつえらびなさい。(5 × 3 = 15)

(1) [うんどう]

A うごくこと、体をうごかすこと。

B にもつや人をはこぶこと。

C きかいや、車などをうごかすこと。

D しょうらいどうなるか、何がおこるかななどをよそくすること。

(2) 〔きっさてん〕

- A おかしや、かんたんな食べものをつくるみせ。
- B おちゃや、コーヒー、ジュースなどをうるみせ。
- C のみものや、おかし、かんたんなしょくじなどを出すみせ。
- D いろいろなおんがくを聞かせてくれるみせ。

(3) 〔さいふ〕

- A 出かけるときに、たいせつなものを入れてもって行く小さなかばん。
- B お金を入れる、ふくろのようなもの。
- C 中にてがみを書いて入れるかみのふくろ。
- D 出かけるときに、くすりを入れてもって行く小さなふくろ。

問題Ⅳ

〔 〕の中のことばの意味が、正しく使われている文を、A～Dの中から一つえらびなさい。 (5×2=10)

(1) 〔あつい：おゆなどのおんどが高い。〕

- A もう少しあついかみはありませんか。
- B 今日はとてもあついですね。
- C わたしはあついものがのめません。
- D ふゆはさむいですが、なつはかなりあつくなります。

(2) 〔こと：けいけん〕

- A 日よう日にはいろいろなことをします。
- B このかんじは見たことがありません。
- C 日本語をはなすことができますか。
- D 日本へ行っても、あまりわるいことをしてはいけません。

【文 法】

問題 I 次の文の（ ）の中に何を入れますか。それぞれのA～Dの中から、いちばんいいものを一つえらびなさい。
(5×10=50)

- (1) きかいがあれば、ぜひ日本へ（ ）です。
A 行きたがる B 行きたい C 行きます D 行く
- (2) おなかが（ ）ときは、これを食べなさい。
A すいた B すいていた C すかない D すかした
- (3) しゅくだいは、もうぜんぶして（ ）。
A みません B いました C しまいました D いません
- (4) お父さん（ ）いれたコーヒーは、とてもおいしい。
A を B へ C から D の
- (5) このくつは、わたしには少し（ ）すぎます。
A 大きくて B 大きい C 大き D 大きく
- (6) 先生は、けさの新聞を（ ）ましたか。
A お見になり B ごらんになり C はいけんし D ごらんし
- (7) 少しさむいので、まどを（ ）いいですか。
A しめても B しめたら C しめなくて D しめれば
- (8) ゆうべは（ ）ふりましたねえ。
A 大きく B とても C ずいぶん D たいへん
- (9) 今日はお金を少し（ ）もっていません。
A にも B でも C だけ D しか
- (10) わたしはいつもテレビを見（ ）ごはんを食べます。
A あいだに B ながら C たり D まま

問題II

_____の文と同じ意味の文はどれですか。A～Dの中から、いちばんいいものを一つえらびなさい。

(5 × 4 = 20)

- (1) きのうかいぎをひらきました。
- A きんのうかいぎに出ました。
B きんのうかいぎをはじめました。
C きんのうかいぎをしました。
D きんのうかいぎがおわりました。
- (2) ひこうきの東京とうちゃくは三時です。
- A ひこうきで三時に東京へかえます。
B ひこうきは三時に東京につきます。
C ひこうきで三時に東京から出かけます。
D ひこうきは三時に東京を出ます。
- (3) 田中さんはとてもあたまがいいんですよ。
- A 田中さんはとてもバカである。
B 田中さんはとてもかしこい。
C 田中さんはとてもあたまが大きい。
D 田中さんはとてもあたまのかたちがいい。
- (4) 日本へ来るとき、ちずをかいました。
- A 日本へ来るまえに、ちずをかいました。
B 日本へ来てから、ちずをかいました。
C 日本へ来たいので、ちずをかいました。
D 日本へ来るので、ちずをかいました。

問題Ⅲ

〔 〕の中の____部と同じ意味で使われている文はどれですか。A～Dの中から、いちばんいいものを一つえらびなさい。 (5×4=20)

(1) 〔日本はアメリカほど大きくないです。〕

- A 今日は500円ほどしかもっていません。
- B しんかんせんは、ひこうきほどはやくありません。
- C 一時間ほどまってください。
- D 一か月ほどかかりますが、よろしいですか。

(2) 〔さいきん、よくここでじこがあります。〕

- A 小林さんはインドへ行ったことがある。
- B あの人にはもう三人子どもがあります。
- C どんなことがあったのですか。かなしそうなかおをしていますね。
- D つくえの上にコーヒーがおいてあります。

(3) 〔あなたは、およぐことができますか。〕

- A 一年にはいいことも、わるいこともある。
- B 50くらいかんじを読むことができます。
- C そんなはなし、聞いたことはありません。
- D 自分のことは、自分でしなさい。

(4) 〔しゅくだいは、もうしてしまいました。〕

- A この本は、ぜんぶ読んでしまいましたか。
- B たいせつなものは、つくえの中にしまいました。
- C 今日はここでおしまいです。
- D では本をかばんの中にしまってください。

問題Ⅳ _____の文に続けるのに、いちばんいいものを、A～Dの中から一つえらびなさい。
(5 × 2 = 10)

(1) でん車の時間まで、あと五分しかありませんから、

- A いそがないほうがいいです。
- B 少しいそぎましょう。
- C まだだいじょうぶです。
- D そんなにいそがなくてもいいです。

(2) それではこれでしつれいします。

- A みなさんによろしく。
- B 行ってらっしゃい。
- C おかえりなさい。
- D どういたしまして。

【読 解】

次の文を読んで、あとのしつもんにこたえなさい。こたえは、A～Dの中からいちばんいいものを一つえらびなさい。(10×10=100)

日本で毎日使われている漢字は、中国の文字です。

漢字は今から五千年ほど前に、中国のある人が、鳥の足あとを見て考えたと言われています。

日本にはむかし、まだ文字はありませんでした。今から千六百年ほど前に、初めて中国から漢字がやって来たのです。しかし、そのころの日本人が漢字をじゅうぶん知っていたかどうかはぎもんです。それでもこの便利な漢字を生活や文化にじょうずにとり入れて、ゆたかにしていったことはたしかです。

漢字の数は、ぜんぶで五万字ぐらいと言われています。一日五字ずつおぼえていても、二十七年かかります。中国から日本へやって来た漢字の数は、五千字ぐらいだそうです。その中から毎日の生活で使って便利な漢字をえらんで、漢字を使う場合のきじゅんにしました。その漢字の数は、千九百四十五字です。

中国から漢字がやって来て、たしかに便利になったのですが、日本のことばを漢字ばかりで書こうとすると、いろいろこまるが出てきます。そこで、今から千年ほど前に、ひらがな・かたかなのかな文字が生まれました。このかな文字は漢字をもとにして作られたものですが、だれが作ったかは、はっきりしていません。

この三つの文字は、それぞれやくわりが決まっていて、日本語で文しょうを書く時には、時と場合によってじょうずに使い分けて、書かなければならないのです。

中川良雄編『日語能力考試模擬題—為中国人日語學習初級者之用—』より

〔しつもん〕

- (1) 日本では毎日漢字を使いますか。
A はい、使います。 B 便利な時に使います。
C いいえ、使いません。 D 中国の文字を使います。
- (2) 日本にはむかしから漢字がありましたか。
A はい、むかしからありました。 B 五千年ほど前にできました。
C 千六百年ほど前にできました。 D いいえ、ありませんでした。
- (3) 二千年ほど前の日本人は漢字を使いましたか。
A そのころ中国からやってきました。 B いいえ、使いませんでした。
C 生活にじょうずにとり入れました。 D 知っていたかどうかはきもんです。
- (4) 漢字は日本人にとってどんなやくに立ちましたか。
A むずかしくて、わからなかった。 B あまりやくに立たなかった。
C 生活や文化をゆたかにした。 D おぼえるのに時間がかかった。
- (5) 日本にはどのくらい漢字がありますか。
A 五万字くらい。 B 五千字くらい。
C どのくらいあるかわかりません。 D 千九百四十五字。
- (6) 中国から日本へやって来た漢字を一日五字ずつおぼえると、何年かかりますか。
A 三年くらいかかります。 B 二十七年かかります。
C いろいろこまることが出てきます。 D 一年かかります。
- (7) 日本人はふつうどのくらい漢字を使っていますか。
A ひらがな・かたかなも使います。 B 五千字くらい。
C 五万字くらい。 D 二千字くらい。
- (8) 今のことばを漢字だけで書くことができますか。
A 千年前にはできました。 B できません。
C 千六百年前にはできました。 D もちろんできます。

(9) かな文字は、どのようにして作られましたか。

A 漢字をもとにして作られました。 B だれが作ったのかわかりません。

C やくわりが決まっています。 D 千年ほど前に生まれました。

(10) 漢字・ひらがな・かたかなは、それぞれどんな時に使いますか。

A 便利な時に使います。 B それぞれやくわりが決まっています。

C 時と場合によって使い分けます。 D 日本語で文しょうを書く時使います。